

産学官が連携した「令和元年度 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」を開催し、3県部会（新潟・富山・石川）からの活動報告や近年の新卒者の雇用状況等を踏まえて意見交換を実施。

【日 時】 令和元年10月31日（木）10：00～11：50

【開催地】 北陸地方整備局、富山河川国道事務所、金沢河川国道事務所

（※3会場でテレビ会議、新潟会場はタブレット端末によるペーパーレス会議を実施）

【参加機関】

〔行政機関〕 国交省北陸地整、厚労省各県労働局・3県（土木部・教育委員会 ※新潟県土木部は欠席）、新潟市（土木部）

〔業界団体〕 日建連北陸支部、各県建設業協会、建設ITカンパニー協会北陸支部、各県測量設計業協会、北陸地質調査業協会、日本道路建設業協会北陸支部

〔教育機関〕 建設系大学、高等専門学校、建設系高等学校

【協議会での主な意見】

- ① 普通科高校に対しては、インフラツーリズム等の取り組みを推進し、担当教員や生徒の親に対し建設業の魅力や労働条件の改善等についてもっと深く理解してもらう等の取り組みが必要。
- ② 建設業を更にアピールするには、普段見ることが出来ない現場（ダム・新幹線等）の見学ツアーなどを実施すると良い。
- ③ 令和2年度も引き続き、好評な合同企業セミナーなどの各種取り込みを実施する。
- ④ 現場では就労環境の改善（働き方改革）を推進すると共に、新3K等丁寧な情報発信に努める必要がある。
- ⑤ 離職率の増加対策に関する研究は引き続き行う。

